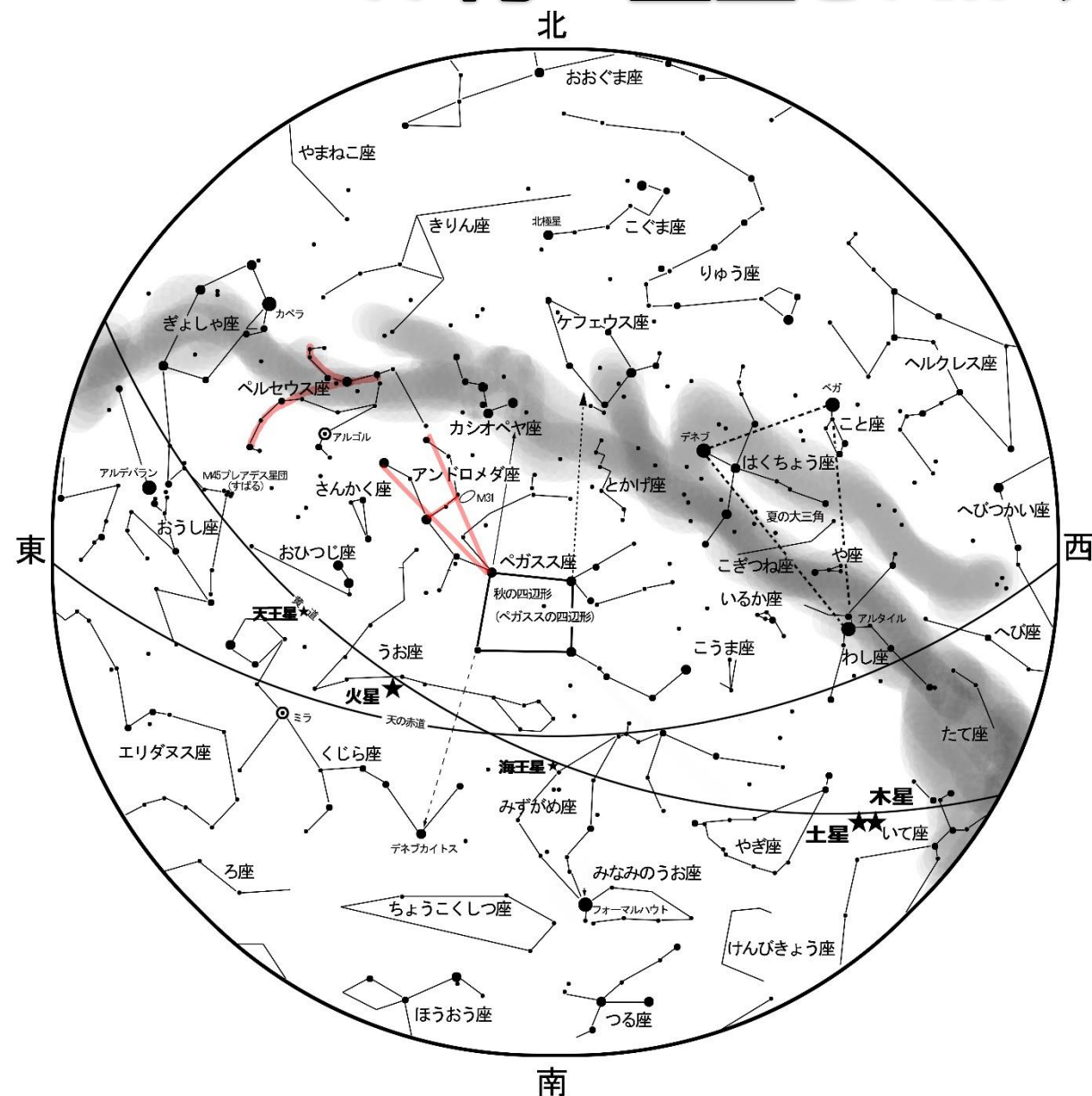


# 令和2年 11月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



## ★11月の星空案内

秋の夜空では、ギリシャ神話「古代エチオピア王家の物語」(アンドロメダ姫を巡る物語)に出てくる登場人物が、秋の星座として輝いています。これらの星座を探す案内役は、同じくらいの明るさの星4つで作る四角形です。今月は頭の上あたりで見つけられます。これは『秋の四辺形』と言われる星の並びで、ペガサス座の一部です。ペガサスは、アンドロメダ姫を助けた勇者ペルセウスが乗っていた空飛ぶ天馬です。『秋の四辺形』の左上(北東)の星を頂点としたアルファベットの「A」のような星の並びが見つかり、**アンドロメダ座**があります。アンドロメダ座の東側で、2等星と3等星の星が漢字の「人」のように並んでいるあたりが勇者ペルセウスの星座、**ペルセウス座**です。次に『秋の四辺形』の左(東)の辺を北にのぼしていき、「W」の字に星が並んでいる**カシオペア座**、『秋の四辺形』の右(西)の辺を北にのぼしていき、とんがり帽子のような星の並びが目印の**ケフェウス座**が見つかります。カシオペアとケフェウスは、アンドロメダ姫の両親で、古代エチオピアの王妃と国王です。そして『秋の四辺形』の左(東)の辺を南にのぼしていき、2等星の**デネブカイトス**が見つかります。デネブカイトスは「くじらのしっぽ」という意味で、ここにはアンドロメダ姫を襲い、ペルセウスに退治されたお化けくじらの星座、**くじら座**があります。

秋の夜空で繰り広げられる壮大な物語を思い浮かべながら、星座を巡ってみてはいかがでしょうか。

### < 現在見える惑星 >

水星(-0.3等前後):おとめ→てんびん座付近	夜明け前、東南東の低空で輝く。(上旬～中旬)
金星(-4.0等前後):おとめ→てんびん座付近	夜明け前、東南東でひととき明るく輝く。
火星(-1.6等前後):うお座付近	21時頃、南の空で明るく赤っぽく輝く。
木星(-2.1等前後):いて座付近	19時頃、南西の空で明るく輝く。
土星(0.6等前後):いて座付近	19時頃、南西の空で輝く。

### 注目の天文現象 ～惑星と月の共演を楽しもう～

今年の11月上旬から中旬にかけて、夜明け前の空では2つの惑星が見えています。-4.0等でひととき明るく輝いているのが金星で、金星を追いかけるように昇ってくるのが、-0.6等の水星です。13日には金星のすぐ近くで、月齢27.1の月が輝いています。新月前の細い月と、ひととき明るく輝く金星の共演は印象的な眺めとなるでしょう。そして、日の入り後にはまた別の惑星も見え始めます。19時頃南西の空で明るく輝く星が-2.1等の木星で、木星より少し高い所で輝く星が0.6等の土星です。そして、南東の空で赤っぽく輝く星が火星です。火星は10月の最接近の頃に比べると、落ち着いた輝きになっていますが、明るい星の少ない秋の夜空では、まだまだ存在感を放っています。19日には月齢4.2の月が土星と木星に接近し、その後、月は満ちていきながら、25日・26日に火星と接近します。

秋の夜空で、月が日々形を変えながら惑星に接近していく様子を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	日	天王星が衝(観望の好期)	17	火	しし座流星群が極大【条件:最良】(19時頃)
7	土	立冬(08:14)	20	水	☾ 上弦(13:45)
8	日	☾ 下弦(22:46)	30	月	☉ 満月(18:30) 半影月食(最大18:43)
15	日	● 新月(14:07)			